

第1129号 平成30年2月1日号 毎月1日発行
JAびえい・くみあいだより 丘の大地
昭和45年3月5日（第3種郵便物認可）



No.1129
2月号

2018
February

丘の大地

JAびえい・広報誌



- 新年を迎えて2
- 焦点/FOCUS3
- タスマニア研修報告4
- 明日を担う6
- 情報カン9

～農閑期を楽しく～

ー 1/23 フレッシュミセス会研修会から ー



新年を威勢よく菰（こも）樽で鏡開き

協同の絆強く、前進

農業生産の飛躍と活力ある協同事業の推進を誓うJAの新年交礼会が1月9日大ホールで開かれました。この交礼会には浜田町長、組織活動代表者、町内農業団体長、日常的に取引のある関連会社代表、JA役職員などホール一杯に215名が協同の絆深く更なる前進を誓いました。開会挨拶で熊谷組合長は「平成28年の施設被災はほぼ回復し今年から穀類の受け入れ調整は新施設の利用が可能。農業総生産高も連年の右肩上がりで交付金を含め155億円が見込める。TPPやEPA交渉には不満が残るが協同組織一丸となって取り組みたい。当JA創立70周年の節目に組合員の皆さんと更なる飛躍を遂げたい」と述べました。続いて菰（こも）樽による鏡開きでは各代表が祝い酒を囲み熊谷組合長や浦島専務の音頭で威勢よく杵が打ち下され新年の飛躍を新たに誓いました。平成30年は農業振興計画の総仕上げ年。JA役職員は目標の達成に向けて、事業の推進に思いを馳せていました。

新部会長に寺口方水さん
当JA14生産部会のトップを切つてとまと生産部会の総会が1月16日大ホールで行われました。H28年は生育期の6月は曇天、低温の影響により各作物の生育は

とまと生産全道一めざし



重点事項などを確認の定期総会

停滞傾向となったものの7月以降については総じて天候は良く、生育は順調。露地野菜は、全般的に平年より高い収量を確保することができたとし、販売実績については、生産量5,164t（前年5,053t）前年対比102.2%、生産額1,587,174千円（前年1,478,146千円）前年対比107.4%、10a当りの収量は11.4t（前年11.4t）前年対比100.2%、10a当りの収入は3,499千円（前年3,323千円）前年対比105.3%、平均単価307円（前年293円）前年対比104.8%と報告されました。当JAの農業振興計画でも主幹品目として高生産が期待される所です。本年は役員改選年にあたり新部会長に寺口方水さん（原野4）を選任しました。

平成30年度新役員（敬称略）

役職	氏名	住所
部会長	寺口方水	原野四線
副部会長	大井徳和	旭中央
副部会長	長谷川勝洋	原野四線
理事	佐佐木正勝	新星第二
理事	野老山直樹	美沢共立
理事	林 大祐	新区画向上
理事	辻 英則	下宇莫別朝日
理事	ピンティリエラズバン	朗根内
理事	田中 康明	旭中央
理事	柚木 壮太	旭第三
理事	奥平 和久	字基線16号
監事	代田 康宏	朗根内
監事	内藤 洋仁	新星第二

重点項目

- ・栽培基準の遵守による高位平準化を図る
- ・生産履歴記帳の徹底
- ・全土壌診断の実施
- ・GAP（生産工程管理）への取り組み
- ・研修会、講習会の開催、参加
- ・マルハナバチの飼養と管理の徹底・現地調査の実施
- ・経済性を考慮した施設栽培の推進



一層の盛り上がりで和やかに懇親会



開宴を前に江花会
長挨拶

い〜い湯だな 湯治でのんびり
JAびえい年金友の会（江花一治会長）では恒例の「湯治」を1月25日から3日間の日程で行い、64名の参加となりました。会員の皆さんが毎年楽しみにしている事業の一つで人気も高く、久しぶりの再会に「話の花」が咲き白金温泉の名湯につかり体を癒していました。初日は熊谷組合長も懇親に参加し、現況のJAの生産経過や事業について報告し、日頃の事業協力に感謝を述べ、先輩組合員の皆さんのお力をねぎらい、再会を約束していました。

年金友の会 64名 白金温泉で

焦点 FOCUS

～経済通が視る農業、農協(その3)～ 経済成長の力基は、生産性の向上

経済成長というのは国内の生産、需要、所得それぞれの合計であるGDPが増えることと考えています。かつてわが国では猛烈な勢いで経済成長した高度成長期がありました。それではなぜ高度成長は起きたかですが、この時期は生産年齢（15～65歳）人口率、すなわち働き手の人口が1.7%ほどのペースで伸びていました。さらに、働き手一人当たりの生産量が増え経済成長率は10%近くになります。

少子高齢化が問題視されるこれからの日本にとって、注目される最重要キーワードは「生産性の向上」です。高度成長期、生産性の向上でインフレギャップが埋まり国民が豊かになり、豊かになったことから国民は消費を増やします。すると需要が増えまた生産性が上がる。これこそが経済成長です。この循環がぐるぐる回ってふと気付けば世界2位の経済大国となったのです。日本の総人口の減少ペースはほぼ横ばいでしたが、少子化により生産年齢人口の減少は著しく、総人口に対しての生産年齢人口の割合が問題で、バブル期は7割ほどありましたが現在6割となっており、まもなく6割を切るでしょう。

我が国の総人口は高齢化により維持されているものの、それに対し生産年齢人口が減っているのがインフレギャップになるのは当然です。団塊の世代が生産年齢人口から抜け、新たな若者は労働市場に入ってきません。少子高齢化が終わらない限り、絶対にインフレギャップに陥ります。高度成長期も同じようにインフレギャップだったものの、生産性の向上によってわが国は経済成長することができました。また同じことをすればいいのです。

さて、農業分野では機械化を進めることが重要です。ドローンやAIの進化、あるいは米の生産や草取りの自動化など設備投資、技術革新を行えば高度成長期のような実質賃金向上を伴う生産性の向上ができるでしょう。農業分野は特に生産性が低い、機械化が進めば儲かる産業となり、生産能力も維持できるでしょう。今日日本は歴史の分岐点で農協のみなさんはその先頭に立っている、農協こそが農業分野における生産性向上をけん引してもらいたいと考えています。

（三橋貴明氏講演から / おわり）

豆作生産部会で冬季研修



小豆類について

安価な古品在庫の減少や、供給力の減少による価格上昇で、消費のペースが前年より落ち込んできておりますが、食品表示法改正（H29年9月）により、輸入品から国産（道産品）への切り替えの動きが強くなっており、そうした背景から、安定供給が求められる状況となっております。

豆作生産部会（喜多順 一部会長）ではH30年度の冬季研修会を開きました。全道的に豆作生産意欲は低迷しており、需給バランスが崩れて増反が求められているところですが、需給状況について報告がありましたので品目別にご紹介致します。

光黒大豆について

H30年産の生産にあたっては面積の確保が必要です。大納言については、H27・28年産の面積減少による供給力不足から消費が低迷しております。H29年産の生産状況について、面積が2,832ha（前年2,473ha）と増加し、収量も3.95倍と平年3.75倍（反）を上回ることから、安定した需給状況となっております。ただ、近年の安定した消費（10万11万俵）がH28年産の不作および高価な品の受け渡しにより落ちこんでおり、どの程度回復するかによって、いつタイトな状況になるかわからない環境となっております。このような中、需要に基づく作付

豌豆類について

ここ数年豊作が続いていることにより供給力がやや過剰気味になっている状況であることから、H30年産においては作付面積を減少させて需給環境を整えていかなければなりません。しかし一方で、近年コンビニ等の大福需要の高まりや輸入玉から道産玉への切替えが進んできたことから、安定的に消費してきており、中・長期的に考えると作付面積の維持は必要となります。

JAびえい農業担い手研修報告

当JAが昨年2月に交わしたタスマニア州との協定に基づき研修派遣が行われていたところですが、この体験や成果を発表する報告会が1月23日に行われました。この報告会は「JAびえい担い手研修」と称して行われました。この日は在札幌オーストラリア領事のロナルド・グリーン氏、領事館の小林商務官、ホクレンの箱石代表理事常務、川崎農業委員会会長、保田農林課長、農政事務所の高木主任農政推進官の他、関係取引先の代表等も招き行われました。今回初の派遣で研

1ヶ月研修の成果を報告 豪州タスマニア農業

12月17日まで

修を受けたのはJAびえい青年部の4名で大波太郎さん(新星)、酒本新一さん(水沢)、前田翔さん(置杵牛)、神成貴洋さん(新区画)の各氏。

研修期間は平成29年11月18日(同

の1ヶ月。研修は語学文化、同州タスマニア州内での栽培技術研修・農業研修、かぼちゃ栽培における調査や情報収集、輸出販売を見通した豪州他・販売候補先の市場調査などです。研修は多岐にわたっていますが、現地での厳しい生産管理、大規模農場の現場を体感し、研修後は地域や我が家の「営農に活かす」ことがキーポイントとなっています。

美瑛農業の底上げにも繋げたい

報告のまとめでは、「貴重な体験を通し情報や経験を地域に伝え、美瑛農業の全体的な底上げに繋げること」を前提に、今後の農業経営に向けて国内外の農業を知ることは非常に重要。何より多様な発想の下で、農業に取り組む姿は非常に大きな糧となった。この刺激を自身の農業意欲・技術の向上に結びつけたい」と話していました。今後のスケジュールとして1月中旬に北瑛地区青年部10名

青年部より報告が行われました



研修報告

工程管理を共有し作業

による視察研修、2月下旬にJA職員3名がかぼちゃの収穫を予定して

タスマニア州立専門学校での研修に係る講義やスケジュール、自己紹介等の後ランチをはさみ、早速タスマニア管理農場フリーファーム農場へ移動。ここでは企業への土地のリースや失職者が生活保護者を受けるための奉仕活動の場としてコミュニティファームが設けられている多目的農場であり、生産物の売り上げなどはそのままタスマニアの運営資金となる重要な場所である。農場の先生の一人であるブロック氏は作業を行う上で欠かせないこととして現場に携わる人員全員で行程表を作り、トラブルが起こりうる作業の洗い出し、その作業への対処方法、心がけなどを全員がしっかりと把握・認識した後に作業を行い、その後の作業中にも少しでも事故につながりそうなことが起きる度に行程表を更新していく徹底したやり方であった。

こちらに来てやるべきことの1つであるカボチャの定植。その前段として重要なマルチング作業を研修者4名、通訳の安井氏、タスマニア農場の先生ロドニー氏、ダンカン氏、生徒2名と共にこなした。こちらでは

います。以下研修の概要について報告します(要約)

マルチ農法が普及しておらず、マルチといえば稲わらマルチという風な状態であったため、安井氏を通じて説明を繰り返しながらの作業となった。ダンカン氏が借りてきたマルチング作業機は日本のよりも遥かに大きく、作業機自体に人が乗ってペダルでマルチを抑え、油圧レバーで土のマルチへの盛り具合を調整するというもの。強風で土を盛る前にマルチがめくれ難産の作業となった。

記録つづめの生産管理

タスマニア州の品質管理基準についての座学では、消費者・販売業者の食への関心が非常に高く、フレッシュケアと呼ばれる基準を満たしているということは作り手が「消費者の安全を守り、かつ作物に対して高い意識を持っている」ことを示す証明として、信頼を得られるという大きな意味を持っている。シャニー先生自体、自分の農場の記録を請け負っており、記録する項目が非常に多く、記録専門で一人雇うくらいの労力が必要とのこと。

そして記録したものは定期的に見直すことで、監査に備え、自己分析にも必ず役立つと語っていた。そしてこのフレッシュケアはグローバルギヤップにも通ずるものがあり、生産

フ ォ ト ス ケ ッ チ



◀移動手段は広い農場で普及のATVと呼ばれる対地対応全車だ。



▶ATV車は若い人が無茶な運転で命を落としていたりする。扱いやすくて油断のできない車両だ。



◀作業なチエズ塊つど題生作にル抑て土載な問発チ斜マのく。がるな々マル傾と体甘る。石くか多たはる本がしやて細がした。



◀タスの基土質管理手作成食すひ伝二ア管栽培や作り対がとマ品質。栽大もわにいし準は一者関農思ひる。準は費にとるしわ。



▶農機具や建機の販売会社はどれも大ききれいに整理されている。

物の大半をオーストラリア本土や海外に輸出するタスマニアにとって重要な要素であると感じた。この栽培基準は州だけではなく大手スーパーや生産者、消費者が作成に関わっていること聞き、食と農に対する想いの強さがひしひしと伝わる内容だった。

巨大な農機修理工場しかも綺麗

タステフ職員の案内で農機会社、農協を視察研修した。ドイツファール等の農機、建機の販売、修理等を行う会社である。見学者にもセキュリティ安全管理を徹底しており、代表者のカメラ撮影と見学者各人の名前の記入、ゴーグルや安全靴の着用を要求された。扱っている機械の巨大さにも驚いたが、特に印象的だったのは事務所、修理工場共に非常に綺麗に管理されていたことだ。

どの作業場も、油汚れや埃などは目立たず、部屋を使用するたびにきちんと清掃を行っている賜物だろう。機械も部品も作業場も徹底して清潔に保つことで、故障箇所を見落とさず、かつ作業の効率も上がるという当たり前のことを守っているだけとは思ったが、巨大な工場で全員が共通の意識で作業にあたれるというのは、理想的なことだと感心した。

高齢化進むタスマニア

1977年創業、タスマニア唯一の農業協同組合。登録組合員はおよそ750戸で、60%が肉牛、乳牛などの酪農、25%が畑作農家、残りが野菜農家など、といった割合。

農業用品などを主に取り扱い、イメージとしてはセイカンのような感想を持った。年会費250豪\$, 各

種講習会やレクリエーションを充実させ、商用車などは持たずに利益の一部を組合員に還元する形をとっている。組合員のほとんどは大規模な農家で、日本と同じように高齢化が進み、小規模な農家は徐々に辞めていく状況になっていると語っていた。

テーブルキャップチューリップ農場はテーブルキャップという岬に位置するチューリップ等の球根を主な生産物とする観光農場。ここは元々火山の火口であった所が隆起して生まれた岬で、土壌の由来は溶岩であり、土中の粘土の割合は70%を占める。

しかし美瑛の粘土土壌とは重さ、色などが異なり、粘土以外に含まれているミネラル分や有機物が豊富なので、その違いが生まれているのだという説明だった。

この土壌の有機物やミネラルを維持するために土壌改良には特に力を入れていくらしく近年学会で発表された緑肥の使い方などをいち早く取り入れるなど、努力を惜しまない姿勢が印象的だった。

球根類の収穫適期は三日間と非常に短い期間のため、取り扱う約100品種の定植のタイミングをきちんと管理することが重要とのこと。この球根の流通に関して、行先はオーストラリア全土に渡り、競争相手がほとんどおらず、取引業者とも確固たる信頼関係を築いているため非常に安定した収入を得ることが可能と語っていた。人と違ったことをしてみたい、という意識が強かった結果、チューリップという方向へ農場の経営方針を転換したと聞き、その行動力に感服した。

明日を担う

美瑛町
中宇聖和

宇莫別・朗根内
ブロック
(青年部監事)

松原 幸司さん
(S61.2.7 生まれ)



宇莫別市街を通り聖台ダムに向かう。春先は周辺を桜樹が堤を飾るもの。今は厳冬のさ中で、追い打ちをかけるように静かな佇まいが真っ白な世界で包まれています。このダムはあの三浦綾子さんの小説

高みをめざす農業経営

「銃口」の舞台にもなったところ。その聖台ダムの上流部に松原さんが農業に取り組む場所があります。現在、耕種品目はトマト。先代の意志を受け就農7年目。水稻との複合経営から現在の「トマト専業」へと移行しています。

経営規模は施設ハウス16棟、面積換算で約1,400坪を管理しています。基本的には家族経営ですが、繁忙期にはパートさんに加わってもらい4人で収穫から出荷まで切り盛りしています。H29年の農業経営について尋ねると「7月頃の高温障害による花落ちは収量的に影響を心配したものの、

夏場には回復し、全般的にも平年作となり良かった」と安堵しています。就農8年目に向かって、管理技術をいかに自分のものとして身に着けるかが大事としています。主に栽培しているトマトは6月中旬から10月末までの長い収穫期間で、シーズン中にその都度リカバリーできることもやりがいの1つとしています。

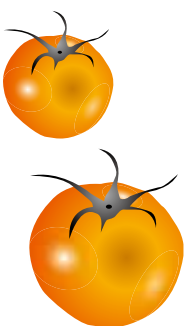
苗半作と言われるように育苗には神経を使い、健苗のため苗床用の土は自分でブレンド。ハウス面積は一定となるため、単位当たりの収量確保がポイントとなるとしていますが、決定的なのが水管理と追肥のタイミング。後は病気やスリックスにも勿論気を付けながら作物管理を続けます。繁忙期は朝5時頃から10時頃までハウス内作業。親から栽培技術を継承して現在に至っていますが、めざすところは、収量、品質的にも今よりさらに低コスト経営に努めたいと意欲的です。今後取り組みのポイントになるのが新品种をどう取り込んでいくかということ。それは耐病

青年部活動は「自分磨き」も

性であり、木が暴れないで素直に生育すること、身なりが順調になることなどが挙げられますが、今のところ「桃太郎」からの派生品種がいろいろありますので、我が家の圃場にあつたものを選抜したいと考えています。

農閑期の今はJRで除雪のバイトをしています。ここでは色々な職業の方や農業者も沢山いますので、いい意味で情報の交換場所になっていると話します。24時間勤務でシフト性になっていますので出勤日数は10日前後。本格的な春作業まで余念がありません。

青年部加入は25才から。支部活動から理事を経験し、現在は監事。青年部活動は仲間づくり、情報の交換に欠かせない組織。新しい「自分磨き」に勉強をしたいとしています。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

昨年11月21日に札幌市で開催した「JA北海道大会実践フォーラム」では、JA北海道大会（平成27年開催）の決議事項の実践機運を高めることを目的に、『新規担い手倍增』と『道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりと准組合員制度』をテーマに取り上げ、JAの実践事例発表とパネルディスカッションにより、『担い手受け入れへの地域合意形成』と『准組合員との関係強化』の大切さなどを再認識する場となりました。



JAによる事例発表の様子↑

JA北海道信連



昨年11月に「食」と「農」をテーマに開催された「北海道アグリ・フードプロジェクト」に参加しました。当日は、キャンペーン

チラシの配布などでJAバンク北海道や「ドドーン貯金キャンペーン」等のPRを行ったほか、□座開設を予約された方に「ちよリスブランケット」をプレゼントしました。今後も積極的にイベント等へ参加し、JAバンクのPRを通じて、サポーターづくりに取組んで参ります。

ホクレン



道産牛乳・乳製品の消費拡大を目的に酪農家の拠出金で



継続的に実施している「ミルクランド北海道」事業の一環として、東京都武蔵野市吉祥寺の商業施設「コピス吉祥寺」に期間限定ショップ「MILKLAND HOKKAIDO TOKYO」(平成29年11月15日〜平成30年3月25日)を開催し、北海道酪農を広くPRしております。会場では北海道の酪農家が実際に訪れ、来場者と交流するイベントも毎月開催しています。

JA共済連北海道

2月5日から12日まで開催される「第69回さっぽろ雪まつり」7丁目会場にて、平成29年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品65点を展示します。

JAとJA共済連北海道は、交通ルールの大切さや交通安全に対する願いが描かれた小・中学生の皆さんの作品を通して、交通事故防止の意識づくりにつなげたいと考えています。



昨年の会場の様子↑

JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

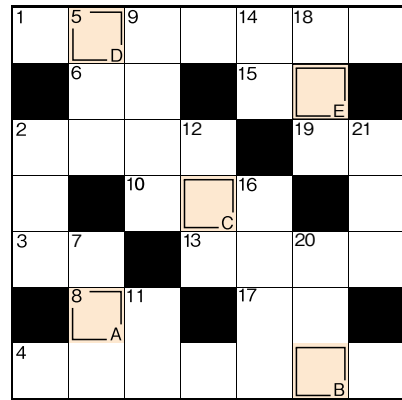
ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字をA→Eの順に並べ
てできる言葉は何でしょうか?



ヨコのカギ

- ① お内裏さま、5人ばやしといえ
- ② 胸びれを広げて滑空します
- ③ 学生、修道――
- ④ ラディッシュとも呼ばれます
- ⑤ 水を多めに入れて炊いた米
- ⑥ ドライバーで締め付けます
- ⑦ とつくりを持つてお――し

タテのカギ

- ② 在校生の送辞に対する卒業生の返事
- ⑤ 15日間ある大相撲なら8日目
- ⑦ ケーキを焼く前にオーブンを――した
- ⑨ 大学――に向けて受験勉強をしています
- ⑪ 日によって値段が変わるメニューにはこう書かれます
- ⑫ 宇野重吉と寺尾聡、渡辺謙と杏
- ⑭ 国民の三大――は教育・勤労・納税です
- ⑯ 食材をいぶして作ります
- ⑰ 石原裕次郎のヒット曲――よ今夜も有難う
- ⑱ 豚カツの衣の一番外側
- ⑳ 永世中立国として有名。首都はベルン

正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分(全農)をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

【応募方法】

● ハガキ

注! ハガキは62円です

うら

- ① クイズの答え
- ② 今月号の良かった内容
- ③ 取り上げて欲しい内容
- ④ その他ご意見・感想など
- ⑤ 住所氏名・年齢・電話番号

おもて

62 071-0298
美瑛町
中町2丁目6-32
J A びえい「丘の大地」
クイズ係

● F A X 0166-92-2977

● Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp

【締め切り・発表】

毎月20日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。

こたえ・当選者

☆先月号のこたえは

『フキノトウ』でした

☆当選者は

1 ト	6 ウ	9 キ	14 モ	18 ナ	21 カ
7 ロ	11 ン	12 リ	15 ツ	19 ノ	20 セ
2 シ	3 コ	10 ユ	13 キ	16 ミ	21 セ
4 ユ	8 チ	10 バ	13 シ	16 ア	21 セ
5 フ	12 エ	13 ヨ	16 ホ	17 ウ	21 モ
6 ク	12 ス	13 リ	16 オ	17 ト	21 モ

小林 たけるさん
三田村 千恵子さん
吉本 美津子さん
中澤 明美さん
真田 由衣さん
以上5名です。
おめでとございます。

※応募の際にご記入いただいた個人情報は、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見・感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

2月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

おひつじ座 (3/21~4/19)

【全体運】人間関係に恵まれそう。特に趣味や習い事などを通じた交流から得るものが多いはず。SNSにも出会いあり
【健康運】スポーツで体調UP! 腕が上達しやすい
【幸運を呼ぶ食べ物】伊予かん

おうし座 (4/20~5/20)

【全体運】思う通りにならないことが多く、ストレスを感じがち。でも、笑顔と優しさを忘れなければ開運のきっかけに
【健康運】体を動かす習慣を付けると、ラッキー
【幸運を呼ぶ食べ物】ヤリイカ

ふたご座 (5/21~6/21)

【全体運】行動力が高まる兆し。以前からやってきたことに挑戦を。攻めの気持ちで動けば、手応えを得られるはず
【健康運】スキンケアを丁寧に。肌も心も潤いそう
【幸運を呼ぶ食べ物】カラシナ

かに座 (6/22~7/22)

【全体運】物事を邪推しやすく、素直になれない気配。ゆっくり息を吐き、気持ちを静めましょう。いい香りをかぐのも◎
【健康運】健康法に凝り過ぎてしまいがち。ほどほどに
【幸運を呼ぶ食べ物】豆腐

しし座 (7/23~8/22)

【全体運】あれこれ迷いが生じやすい月。信頼できる人に話を聞いてもらい、一人で悩まないで。芸術鑑賞で気晴らしを
【健康運】ほほ順調。散歩や体操などの運動につき
【幸運を呼ぶ食べ物】セリ

おとめ座 (8/23~9/22)

【全体運】神経質になる暗示。周囲の悪い面ばかり目に付きやすいので、意識を変えて。気分転換にはハーブティーが有効
【健康運】リラックスして過ごすことで上向くはず
【幸運を呼ぶ食べ物】カブ

てんびん座 (9/23~10/23)

【全体運】レジャー運が活性化。気の合う仲間たちとにぎやかに楽しんで。絵を描くなど、創作的な活動にも幸運がある予感
【健康運】ロコミで体質に合う食材を発見しよう
【幸運を呼ぶ食べ物】ナバナ

さそり座 (10/24~11/22)

【全体運】ささいなことでイライラするかも。一人の時間をもち、心を安定させて。手作りの趣味を満喫するのもお勧め
【健康運】暴飲暴食に注意。栄養バランスも大切に
【幸運を呼ぶ食べ物】フキのとう

いて座 (11/23~12/21)

【全体運】興味を持っているジャンルについて情報収集を。耳寄りな話題をキャッチできる可能性大。人脈拡大にもベスト
【健康運】疲労をため込みやすいので、休息が大事
【幸運を呼ぶ食べ物】タイ

やぎ座 (12/22~1/19)

【全体運】プライベートの充実を図るのに向いています。やるべき作業を片付けたら、好きなことに打ち込んでみましょう
【健康運】生活リズムを整えると調子が上向く予感
【幸運を呼ぶ食べ物】ハクサイ

みずがめ座 (1/20~2/18)

【全体運】いつも以上に魅力が輝く月。積極的に自己アピールしていくと好結果に。新しいことへのチャレンジも大賛成!
【健康運】血行を促進させることで、より健康体に
【幸運を呼ぶ食べ物】セロリ

うお座 (2/19~3/20)

【全体運】インスピレーションがさえる時期。ふとしたひらめきを大切に。人間関係は皆の調和を第一に考えると好転
【健康運】ストレスを感じやすい。ゆったり備えて
【幸運を呼ぶ食べ物】オレンジ

パソコン講習会について

場所：JAびえい2階パソコン研修会

講師：青色申告会

種類：ソリマチ簿記（パソコン）

日程：2月2日（金）、5日（月）～9日（金）、
13日（火）～15日（木）、19日（月）
～23日（金）

時間：① 9:00～11:00

② 13:00～15:00

内容：・ソリマチ簿記の使い方や勘定科目の設定
など

・次年度更新の仕方

・クミカンデータの転送の仕方

※酪農講習会は2月7日（水）15日（木）、21
日（水）の13:00～15:00です。

窓口

営農部 ☎ 68-7014

JA Biei Information



2月・3月の土曜日は お休みさせていただきます

JAの土曜日の業務は、スタンド・
FARMLAND・美瑛選果を除き、休業と
させていただきます。

窓口

総務部 ☎ 92-2111

メリットいろいろ！青色申告を始めませんか

青色申告は、自分の経営を客観的につかむための重要なツールです。青色申告には、税制上のメリットもありますので早速、取組んでみましょう。なお、収入保険制度の創設を規定した農業保険法が成立し、平成30年10月より加入申請開始、平成31年1月より保険期間がスタートします。この対象者は青色申告を行っている農業者となります。

青色申告を始めるには、まず何をすればいいの？

平成31年の確定申告の際に新たに青色申告を行おうとする場合、個人の場合は平成30年の確定申告期限（平成30年3月15日）までに最寄りの税務署に「青色申告承認申請書」を提出しておく必要があります。なお、この申請を行っても、後日、「青色申告の取りやめ届出書」を提出して、青色申告を取りやめることもできます。

青色申告の主なメリット

青色申告特別控除

「複式簿記」の場合は65万円を、
「簡易な方式」の場合は10万円を
所得から控除可能です。

窓口

営農部 ☎ 68-7014

第1回セイカン祭のご案内

2月22日(木)23(金)

9:00～16:00 2日目15:00まで

特価商材

日立 コンプレッサー 定価×50%

ケルヒア スーパー 定価×50%

新古品 メッシュコンテナ

中古 スチールコンテナ などなど

来場者には粗品をプレゼント!!

開催場所 **JAびえい 研修センター**

ファームランド
FARMLAND JAびえい店

☎ 92-3455 FAX92-3488

窓口

車検はお早めに…

オートサービスセンターは、毎年3月中旬から、車検整備の繁忙期に入ります。

車検は有効期限満了日の45日前から受けることができます。45日以内であれば早く車検を行っても次回の車検満了日までの期間が、短くなることはありませんので、冬タイヤを装着し自走できるトラック等の車検は、お早めに入庫されることをお勧めいたします。



窓口 オートサービスセンター ☎ 92-2156

除雪機の事故に注意！



日本では毎年除雪機による重大な死亡・重傷事故が発生しています。



事故防止のために

- ◆デッドマンクラッチ等の安全装置は無効化せず、正しく使用する。
また、緊急停止スイッチを必ず装着する。
- ◆雪詰まりを取り除く際は、エンジンを停止して回転部分が止まったことを確認してから、雪かき棒で作業する。
- ◆雪上は足元が非常に滑りやすいので、後方への移動や斜面で作業する際には転倒に注意する。
- ◆走行する際には、壁や障害物に十分注意する。
- ◆作業をする場所の安全を確認し、子供を決して近づけない。

窓口

研修センター ☎ 92-0588

春の農作業前に点検整備を!!

トラクター、除雪機や作業機等の点検整備はお済みですか？

まだ早いと思っているかもしれませんが春耕期はすぐそこです。

農機具の事前点検整備を行うことにより営農コスト低減のため、農作業安全のため、確認してはいかがでしょうか。



研修センターでは寒いこの時期でも工場内で快適に点検整備ができ、整備工具等も充実しています。また、整備点検の行い方など不安に思っている方でも職員が指導し、安心して行えるよう準備しています。

また、自分で行えない方は委託整備も受付を行っております。



ぜひ、この機会に自主整備、委託整備を行いましう。

希望される方、料金等詳しくは研修センターまでご連絡下さい。



窓口

研修センター ☎ 92-0588

新年度に向けて気持ちも一新して 少量多品種の消費地要望に応えた販売活動

JAびえい販売(株)がスタートして一年が経過しようとしています。組合員の皆さんの生産する農産品の付加価値を高め所得として少しでも多く還元することを目的にスタッフ一同、営業・販売活動を行っています。販売活動の中で取引先やイベント時には一般消費者の方の声を聞く機会が当然多くあります。いま求められている作物の販売の形態など有利販売に繋がる情報収集も行っております。



JAびえい販売(株)東京事務所
INFORMATION

「すつー梱包にまとめた「旬の野菜セット」の要望を多く頂いています。美瑛の農産物・加工品は限りある大切な商品です。素材だけでも十分魅力的ですが、消費者に近くなればなるほど少量多種が好まれている。今、有利販売に繋げるためには他産地、他業者との差別化を図ることが重要だと考えます。

先日、本格稼働を開始した新パッケージセンターでは産直小ロット配送や少量多種をアソートセットに梱包し配送といったことが可能です。このような施設を大いに活用し、ニーズに沿った販売活動を進めて参りたいと考えています。



事故ゼロ運動

交通事故は以前に比べて格段に減少しました。農作業事故もわずかですが、減少傾向にあります。しかしながらゼロにはなりません。どのような状況で事故が起きやすいか自覚して、事故防止活動に繋がっていただきたいと考えています。あらゆる事故には原因があります。人が関わることとして、肉体的・精神的・心理的な不安定が挙げられます。作業面では機械や器具類の不備もあります。そして、作業環境にも誘因があります。こ



要です。

れらが単独で主原因となることは少なく、複合原因となつて発生することが大半です。したがって事故原因を分析するときは、人・機械・環境のどれかに偏らず調査し、再発防止対策を決定する必要があります。現代農業は機械無しでは成り立ちません。大切な収入に結び付く機械作業ですが、最も基本である正しい点検修理が実施されていないことが悲劇を招きます。特に、安全装置を取り外すこと、危険箇所への接触などが事故に繋がるため、注意が必要です。

2018GARAGE 取りまとめ実施中



～農機部品・小農具 春の取りまとめ～

春作業前の準備はお済みですか！？
潤滑剤やエレメントも取りまとめでコスト低減可能です！

取りまとめ期間
平成30年3月16日(金) まで

窓口 研修センター ☎ 92-0588

新発売です

びえい産なつぽしとしゅまり小豆の甘酒

当J Aでは新商品『びえい産なつぽしとしゅまり小豆の甘酒』の販売を1月29日から開始しました。美瑛産を主役にした逸品を新たに商品化。この商品は近郊にある谷口農場の甘酒の製造のノウハウを生かし、びえい産なつぽしとしゅまり小豆と一緒に発酵させて素材の力を活かして優しい甘さに仕上げました。

原材料は、もちろん美瑛町で育てられた「なつぽし・しゅまり小豆」と米こうじだけです。自然に恵まれた大雪山系十勝岳の銘水、内陸性気候による寒暖の差という、耕作に恵まれた土地条件により、安心・安全な美味しいうちなつぽしとしゅまり小豆。温めても冷やしても美味しく、こうじ・発酵の力でも生み出されるお米・小豆の自然な甘みを味わうことができます。ノンアル

もう逸品

コール・砂糖不使用でお子様でも安心してお飲み頂けます。
販売先は美瑛選果本店、美瑛選果新千歳空港店、道の駅びえい等ですが、今後道内・首都圏の既存の取引先を中心に販売先を広げる考えです。販売目標は年間6万缶。一度ご賞味ください。

<商品概要>

- 商品名
『びえい産なつぽしとしゅまり小豆の甘酒』
- 容量
190g
- 原材料
米こうじ、米、小豆
- 希望小売価格(税込)
250円
- 発売日
2018年1月29日(月)



理事会のほうこく

第33回理事会 11月30日(木)

■議案審議事項

- 議案第1号 大口信用供与等について
・原案どおり承認されました。
- 議案第2号 登録金融機関業務廃止に係る規程類の一部変更並びに廃止について
・原案どおり承認されました。
- 議案第3号 固定資産の取得について
・原案どおり承認されました。
- 議案第4号 固定資産の売却について
・原案どおり承認されました。

■協議事項

- ①平成30年度美瑛町農林予算の要望事項について

第34回理事会 12月26日(火)

■議案審議事項

- 議案第1号 役員選任及び総代選挙日程について
・原案どおり承認されました。
- 議案第2号 FinTech企業等との連携及び協働に係る方針の制定について
・原案どおり承認されました。
- 議案第3号 従業員に対する期末賞与の支給について
・原案どおり承認されました。
- 議案第4号 債権の償却について
・原案どおり承認されました。

■協議事項

- ①平成29年度決算事務処理日程について
- ②平成29年度のクミカン収支見通しについて
- ③平成29年度クミカン貸越額の精算について



協同のちから

◇貯金高	276億07百万円	◇組合員数	正組合員 731人
◇貸付高	62億44百万円		准組合員 1,915人
◇出資金	11億40百万円		
◇固定資産	45億89百万円		

※百万円未満四捨五入
(平成29年12月末)

編集後記

- 新年も早々にもう2月、「春の来ない冬はない」との諺通り数年に1度の寒波が全国を襲っているものの待ち遠しい足音が着々と訪れている。
- 活火山を抱える「わがまち美瑛町」大雪山系十勝岳の麓ゆえに数々の恩恵を頂いている。群馬県白根山の突然の噴火は他人事ではない。この噴火は3千年ぶりに眠りから覚め、火山学者からは正に想定外とのこと。自然の猛威は不測の災害をもたらすことを痛切に感じる。周期的にXデーが予見される今日「災害に対する備え」は忘れてはならない。
- 食糧基地北海道に大きな農業被害をもたらす「TPP 11」が日本の大幅な農産物の市場開放に踏み切ってしまうことが現実になった。国は出来るだけ早いうちに発効をめざしたいとしているが、農業切捨ての「前のめり外交」に不満が残る。

気をつけましょう

農作業 事故発生状況

(1月20日現在)

発生件数	0件(16件)	《20件》
負傷	0人(16人)	《19人》
死亡	0人(0人)	《1人》

()は29年度累計 ()は昨年同期累計

※負傷者数は農業労災加入者統計より

こよみ

2月の主な行事予定

7日(水)	種子馬鈴薯生産部会定期総会
8日(木)	豆作生産部会定期総会
13日(火)	稲作生産部会定期総会
14日(水)	麦作生産部会定期総会
21日(水)	長葱生産部会定期総会
22日(木)	ニンジン生産部会定期総会 馬鈴薯生産部会ブロック研修会 (～23日)
23日(金)	大根生産部会定期総会
28日(水)	メロン生産部会定期総会